

ねりま協働ラボ エントリーシート

記入例

練馬区長 宛

ねりま協働ラボ事業について、ねりま協働ラボ事業実施要綱第5条第1項の規定に基づき、下記のとおり申請します。

応募コースに☑を入れる

応募部門 未来創造チャレンジ部門
 コラボチャレンジ部門

 (町会・自治会枠)

※あてはまる場合はチェックを入れてください

団体名	NPO法人●●●●●●●●
団体所在地	〒●●●●-●●●● 練馬区練馬●-●-●●
代表者名	東京 練子
代表者住所	<input type="checkbox"/> (団体所在地と同一) 〒●●●●-●●●● 練馬区練馬●-●-●●
連絡担当者氏名	<input type="checkbox"/> (代表者と同一) 練馬 次郎
電話番号	●●●●●●-●●●●●●
E-mail	●●●●@●●●●.com

※コラボチャレンジ部門の場合は以下もご記入ください

相手先団体名	<input type="checkbox"/> 未定 NPO法人●●●●●●●●
相手先団体所在地	〒●●●●-●●●● 練馬区練馬●-●-●●

団体の活動実績や活動体制等を教えてください。

提案するアイデアに関して、どのような実績や強みがあるのか、具体的にお書きください。

これまで、こども食堂を5年間運営しており、子どもやひとり親世帯の支援、高齢者の孤食、地域の居場所を提供する等、さまざまな支援を行ってきた。活動を進める中では、地域の町会等の組織や、地区区民館や児童館等にも、広報やスタッフ募集に協力いただく等、地域内のさまざまな団体とつながり、密に連携してきた。

また、活動の運営には、代表者だけでなく、複数の役員が分担して役割を担うことで、代表者だけでなく、主に●名の役員が核となり、持続可能な実施体制を組んでいる。

これらの実績により培ったノウハウ、人脈を生かし、アイデアの実現化に取り組みたいと考えている。

対象団体要件の確認

以下の団体要件に適合するか否かを確認の上、チェックを付けてください。

チェック欄

- ① 組織運営に関する定款、規則、会則等があり、構成員が5人以上かつ練馬区在住、在勤または在学者を含んでいる。
- ② 予算、決算が適切に行われている。
- ③ 事業の成果報告および会計報告ができる。
- ④ 1年以上の活動実績を有している。(コラボチャレンジの場合は不要)
- ⑤ 特定の政党、政治活動または宗教に関わる活動をしていない。
- ⑥ 暴力団または暴力団の構成員の統制下にある団体ではない。

対象団体要件を確認して☑を入れる

アイデアを教えてください（800字以内）

タイトル： **練馬発！こども食堂からおせっかいなまちづくり**

地域の課題と感じていることやその背景、協働することによりどのようなことが可能になるのかを含めてお書きください。

地域課題の背景や現状を具体的に記述

●●の統計では、●●年時点のひとり親家庭は●●人、ひとり暮らし高齢者の数は●●人とされている。当団体が拠点としている●●地域にも、ひとり親世帯、ひとり暮らし高齢者等が多数居住している。

上記の背景の中、当団体は、多世代交流や、食を通じた居場所作りを行うため、こども食堂（子どもでなくても参加可）を運営している。当団体を利用する人の数は、年に●●人であり、まだまだ支援を必要としている人に情報が届いていないと考えられる。また、せっかく当拠点の利用を希望している方がいても、区内の遠方に居住している等の理由により、なかなか継続して通えない方も一定数存在する。

そこで、区と協働して、こども食堂の連携システムを作り、情報を広げたいと考える。そこから、地域の企業等とつながって、支援やボランティア募集もできる窓口として活用したい。また、こども食堂の広報や団体同士をつなげることを目的としたイベントを開催したい。さらには、こども食堂団体だけではなく、生活を支援する団体にもシステムへの登録を促し、支援期間中での登録団体●団体、システムを通じた実際の利用者●●人を目指す。また、利用希望者が増えていて、利用をお断りしている等、支援が必要な人全員への対応が難しい団体には、近隣の団体とスタッフを融通しあって、連携して利用者を受け入れるような体制づくりにも活用してもらいたい。

課題解決策を具体的に記述

これらの取組により、区内で支援が必要な世帯や、孤独を感じている方にも、子ども食堂をはじめたとする様々な取組を知ってもらい、気軽に利用してもらえようようにしたい。将来的には、この取組を全国に発信して、練馬区を行政と住民団体で支え合うまちとして、PRしたい。

課題解決後のゴールを具体的に記述

対象事業要件の確認

対象事業要件を確認してを入れる

以下の事業要件に適合するか否かを確認の上、チェックを付けてください。

- ① アイデアの実現化に向けて、事業の計画から実施まで主体的に実施することができる。
- ② エントリーするアイデアに関して、既に他の補助金等を受けていない。または受ける予定はない。

チェック欄